

受領No.1476

密接密集を避けた新たな文化体験手法の探究： 仮想空間とインタープリテーションの融合による authentic experience の提供に向けて

代表研究者	山田菜緒子	金沢大学 人間社会研究域 人間科学系 准教授
共同研究者	Michael Dylan Foster	Department of East Asian Languages and Cultures, University of California Davis, Professor
	古瀬 浩史	帝京科学大学 生命環境学部 教授



Exploring New Approaches for Cultural Experiences with Fewer Physical Contacts: Providing Authentic Experiences Through Virtual Reality and Interpretation

Representative	Naoko Yamada, College of Human and Social Sciences, Kanazawa University, Associate Professor
Collaborator	Michael Dylan Foster, Department of East Asian Languages and Cultures, University of California Davis, Professor Koji Fukuse, Department of Animal Sciences, Faculty of Life and Environmental Sciences, Teikyo University of Science, Professor

研究概要

本研究は仮想空間における旅行体験に着目し、文化の真正さ (authenticity) の再現性や質を明らかにすることに焦点を当てる。密集密接を避けた新たな旅行形態が喫緊に求められ、VR/RA は時空間に囚われない体験手法として急速に広がっている。一方、この仮想体験は現実体験から得られる意味や価値をどの程度伝えられているのかはまだ明確になっていない。現実とリンクし始めた仮想体験の果たす役割は今後増すことが予想され、文化の真価をどの程度どのように理解・体験できるかという影響も検証しなくてはならない。本研究の目的は、地域文化と住民生活の質を健全に保つ持続可能な観光に寄与するために、仮想空間において真正な体験 (authentic experience) を提供できる方法を探ることである。本研究では金沢市を事例にして 1) VR/AR 空間における体験が体験者に与える意味や価値の影響を評価して、2) 金沢の武家・茶屋・社寺文化などについて真正な体験を提供できる VR/AR とインタープリテーションを融合した手法を検討する。本研究の成果により、1) 密集密接を避けた新たな体験手法、2) 仮想空間における文化の真正な体験手法、3) 持続可能な旅行体験手法を示すことができる。